

令和7年7月分 中部空港 貿易概況（速報）の要旨

令和7年7月分について、輸出は「原動機」、「家庭用電気機器」などが増加したものの、「電気計測機器」、「自動車の部分品」、「重電機器」などが減少したことから対前年同月比2.9%の減少となった。また、輸入は「航空機類」「事務用機器」などが減少したものの、「医薬品」、「有機化合物」、「原動機」などが増加したことから、同27.6%の増加となった。

その結果、差引額は308億円の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
中部空港	1,216億円	▲2.9%	1,525億円	+27.6%	▲308億円	—
	10カ月ぶりの減少		26カ月連続の増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 原動機	91億円	+54.2%	輸入	増加品目	(1) 医薬品	215億円	+276.6%
		(2) 家庭用電気機器	54億円	+89.5%			(2) 有機化合物	133億円	21倍
		(3) 半導体等製造装置	27億円	+29.3%			(3) 原動機	256億円	+29.5%
	減少品目	(1) 電気計測機器	41億円	▲41.0%		減少品目	(1) 航空機類	64億円	▲19.7%
		(2) 自動車の部分品	21億円	▲54.4%			(2) 事務用機器	25億円	▲36.7%
		(3) 重電機器	17億円	▲33.7%			(3) 金属製品	36億円	▲27.5%
	主要地域 増減	EU、アメリカが減少、アジアは増加					EU、アメリカ、アジアが増加		

（参考）ドルレートは、145.56円（前年同月比8.9%、14.21円の円高）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。